

自己推薦書の提出について

この入試では、自己推薦書から読み取れる問題解決能力を重視して選抜を行います。自己推薦書では、これまでに自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して、取り組んできたことについて述べてください。

■自己推薦書として、次に示すものを提出してください。提出後の差し替えや追加はできません。

- (1) 自己推薦書(表紙): 本学所定のもの(次ページ)
- (2) 自己推薦書本文: 自分の問題解決能力を示す文章
(A4 サイズの用紙に作成。様式及び枚数は自由)
- (3) 添付資料: 自己推薦書本文で述べた内容の根拠となる資料
(これまでの活動の成果や実績等を示す資料等)

■自己推薦書及び添付資料の作成について

- 添付資料は内容ごとに整理して資料名をつけ、その資料名を「自己推薦書(表紙)」の「添付資料名」欄に記入してください。(「添付資料名」欄は自己推薦書本文の目次ではありません。自己推薦書本文の見出しは「添付資料名」には記入しないでください。)
- 資料は、本文中に挿入しても巻末にまとめてもかまいません。全体の構成は自由に考えてください。
- 賞状・資格認定書等を添付資料とする場合は、写し(コピー)を提出してください。提出された資料は返却できませんので、原本は提出しないでください。
- 制作物や活動の様子等を添付資料とする場合は、写真や動画(5分以内)等にし、DVD や USB メモリ等のメディアに保存して提出してください。提出された資料やメディアは返却できませんので、原本は提出しないでください。
- 本や雑誌に掲載された自分の文章や記事を資料とする場合は、表紙や目次、掲載された部分等、自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。
- 志願者を含めた複数の者による共同研究の成果等は、志願者の担当箇所が判るようにして提出してください。
- 資料に英語以外の外国語がある場合は、その和訳を添付してください。
- 写真や小さい添付資料は A4 サイズの用紙にのり付けし、大きな添付資料は縮小コピーをして A4 サイズに統一してください。付箋は貼らないでください。
- クリアファイルやフラットファイル等を使用せず、添付資料も含めて必ず長辺 2 箇所穴を開け、ヒモ等で綴じてください。
- 指示が守られていない本文や添付資料及び再生できない動画等は、採点の対象から除く場合があります。

■体育専門学群を志願する場合、A(問題解決型)B(競技力型)とも、**運動種目の成績・記録についての証明資料は、「自己推薦書」ではなく「運動特技実績申告書」に添付してください。**なお、B(競技力型)で志願する際の自己推薦書は、これまでの競技経験を踏まえ、自己の競技力に焦点を当てて書いてください。

■「自己推薦書」(自己推薦書本文及び添付資料含む。)は、選考を行う上で重要な資料になります。この「自己推薦書の提出について」で指定する内容を遵守の上、作成してください。

受験番号	*
------	---

令和6年度 アドミッションセンター入試 自己推薦書(表紙)

フリガナ		出身学校(注)	学校名	
氏名			卒業(見込)年 月	年 月
生年月日	年 月 日 生		設置	国立・公立・私立
志望学群・学類	学群 学類		大学卒業後の希望進路	

(注) 高等学校卒業程度認定試験の合格者は「高認」、大学入学資格検定の合格者は「大検」と学校名の欄に記入してください。

自己推薦書本文タイトル:

添付資料名

1 _____

2 _____

3 _____

4 _____

5 _____

6 _____

7 _____

8 _____

9 _____

10 _____

11 _____

12 _____

志願理由書

*

志願先	学群	学類	フリガナ	
			氏名	

志願理由(800字以内)

SAMPLE

(注)*印欄は記入しないでください。

運動特技実績申告書記入要領

この申告書は、志願者の運動特技について、次の要領により、志願者本人が記入してください。

1. *印欄は記入しない。
2. 出身学校について、国立、公立、私立のいずれかを○で囲み、また、卒業(見込)の年月を記入する。
3. 特技とする運動種目名の欄は、例えば陸上競技(走幅跳)、水泳(自由形、短距離)、ダンス(モダンダンス、バレエ)、スキー(回転)、バレーボール(セッター)、ラグビー(ウイング)、剣道(2段)等のように具体的に記入する。
4. 特技とする運動種目の成績・記録の欄は、高等学校在学中及び卒業後に、実際にプレーした大会・競技会の中から、良い成績・記録3件を選び上位の大会から記入する。体操、ダンス等記録で表しにくい種目は、発表会や受賞名等を具体的に記入する。**記載した3件全てについて、その事実を証明できる資料を必ず添付する。**(新聞・冊子等の場合は、発行者、発行日、該当欄を切り抜いてA4サイズにコピーする。)
(※ 大会名及び主催者名は公(正)式名称を省略せずに最後まで書く。)
5. [備考]の欄は、以下の場合に記入し、**その事実を証明できる資料を添付する。**(新聞・冊子等の場合は、発行者、発行日、該当欄を切り抜いてA4サイズにコピーする。)
 - a. 特技とする運動種目の成績・記録がグループ・団体・チームによって達成された場合には、その成績・記録の達成に対して志願者がどのように貢献したのかを具体的に記入する。ただし、試合の組み合わせやチームのレベル等の理由から、志願者本人の個人的な技能が高いにもかかわらず、それが正当な成績として残されなかった場合には、その理由と本人の技能のレベルを具体的に記入する。
 - b. 個人として受賞又は全国レベルの公認記録やランキングがある場合、あるいは全日本レベルの選抜チームや強化合宿のメンバーに選ばれたことがある場合には、その内容を具体的に記入する。
(※ 提出された資料等は返却しません。)

運動特技実績申告書(体育専門学群志願者のみ)

				*
フリガナ				出身学校(注)
氏名	男・女			
生年月日	年	月	日生	
体格	身長		cm	体重
特技とする運動種目				
特技とする運動種目の成績・記録				
大会・競技会・発表会名	開催年 (西暦)	主催者(開催地)	成績・記録	
[備考]				

(注) 高等学校卒業程度認定試験の合格者は「高認」、大学入学資格検定の合格者は「大検」と学校名の欄に記入してください。

※ 記載の際は、「運動特技実績申告書記入要領」を参照してください。

※ 記載した成績・記録については、その事実を証明できる資料を必ず添付してください。チーム・団体競技の場合は、必ず志願者本人の氏名が確認できる大会メンバー表等の写しを提出してください。

※ *印欄は記入しないでください